

内閣府独立行政法人評価委員会
第2回宇宙航空研究開発機構分科会（JAXA 分科会）
議事要旨

1. 日時：平成24年12月12日（水） 8：00－9：30

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

（1）委員

薬師寺分科会長、山川分科会長代理、白坂委員、関委員

（2）政府側

西本宇宙戦略室長、國友宇宙戦略室参事官 他

4. 議事要旨

議事（1）独立行政法人宇宙航空研究開発機構業務方法書の認可について

事務局から資料1「独立行政法人宇宙航空研究開発機構の業務方法書の認可について」の説明があった後、質疑を経て、独立行政法人通則法第28条第3項に基づく当分科会の意見としては「特に異議無し」とした。

議事（2）新たな宇宙基本計画案について

事務局から資料2「宇宙基本計画（案）」に関する意見募集について、資料3「宇宙基本計画（案）の概要」、資料4「宇宙基本計画（案）」、資料5「新たな宇宙基本計画（案）について」について説明があった後、委員からは、以下のような主な質問等があった。（○：委員、●：事務局）

○海外展開にあたっては、メンテナンスや人材育成が重要。日本の技術者は細部の説明はできるが、全体の説明ができない。そういう教育を受けていない。

○大学においても、企業などと協力して、プロジェクトを俯瞰的に見る教育を行ってきている。

○説明能力を向上させる上で、情報収集に加え、情報発信も重要で、JAXA の役割は大きい。中期目標の作成の際にも、議論したい。

○JAXA には理学系、工学系の専門家が多いが、文科系の人を入れて議論しないといけない。

●他国は、衛星を売ったら売りっぱなしで、その後のフォローアップが無いので、相手国が不満を持つと聞いている。パッケージ型インフラ海外展開や ASEAN 防災ネットワーク構築構想では、衛星の提供のみならず、オペレーター養成、画像の解析技術の移転などもパッケージで対応しようと考えている。そのためには、衛星メーカーだけでは難しく JAXA の協力が期待される。

○基本計画のすべてを JAXA が担当するのか。他の機関との役割分担などあるのか。

●防衛通信衛星や気象衛星などそれぞれの担当府省が実施するものもあるが、それらも含め、JAXA は役所や民間の要請に応じて援助や助言を行うことが期待されていると認識。

○パブリックコメントの状況はどうか。

●一日10件以上きており、現時点で合計で100件前後の意見が提出されている。「はやぶさ」や情報収集衛星、有人宇宙活動など個別プロジェクトに対するコメントや、宇宙基本法制定後は、宇宙開発利用を実利用へシフトしていくのだから、夢や希望を目的とする宇宙のようなキーワードはフェードダウンしてはどうかという全体的な意見もある。

以上